

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年	1	選択
担当教員			
菅原 亮芳			
C (商学部)	T (教職科目)	ED (教育)	

授業のねらい (概要)	菅原亮芳 (単独) 道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する知識・技能を理解し、表現できる。 [テーマ] 「時代を展望した優れた授業とは何か、学校における教育課程の在り方とは何か」
授業計画	<p>第1回 【遠隔】 オリエンテーション／授業目標・進め方・シラバス説明・成績評価の方法 予習 (時間) : 教科書 (3-11頁) ・ シラバス熟読 復習 (時間) : 学習内容のまとめ (120)</p> <p>第2回 【遠隔】 教育方法の基礎理論／今求められている学力とはなにか、系統主義・発見学習・動機付け 予習 (時間) : 教科書 (23-50頁) ・ 配付資料熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容のまとめ (120)</p> <p>第3回 【遠隔】 主体的・対話的学びでの実現と教育技術：話法・発問 予習 (時間) : 教科書 (63-76頁) ・ 配付資料熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容のまとめ (120)</p> <p>第4回 【遠隔】 授業構成の基礎的要件 (学級、教室、教材、生徒、教員) 予習 (時間) : ①教科書 (77-90頁) ・ 配付資料熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容のまとめ (120)</p> <p>第5回 学習評価の基本的考え方 予習 (時間) : 教科書 (119-146頁) ・ 配付資料熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容のまとめ (120)</p> <p>第6回 基礎的学習指導論と学習指導案の作成方法と授業設計の方略 予習 (時間) : 教科書 (91-118頁) ・ 配付資料熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容のまとめ (120)</p> <p>第7回 情報機器やメディア、教材の効果的な活用法、PP、Ipat、書画カメラ等による教材作成 (実習) 予習 (時間) : 教科書 (147-160頁) ・ 配付資料熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容のまとめ (120)</p> <p>第8回 生徒の情報モラルを含んだ情報活用能力育成指導法 予習 (時間) : 教科書 (161-185頁) ・ 配付資料熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容のまとめ (120)</p>
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	商学部 1. 職業人的倫理観を持ち、組織で協働できる力 2. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力
到達目標	(1) 教育方法の基礎理論を理解し、概要及び要点を説明できる。(2) 主体的学習で深い学びの実現とは何かを理解し、概要及び要点を説明できる。(3) 授業構成する基礎的条件を理解し、概要及び要点を説明できる。(4) 学習評価の基礎的考え方を理解し、概要及び要点を説明できる。(5) 教育の目的に合った指導技術を身に付け、学習指導案を作成でき、実践できる。(6) 学校教育における情報機器やメディア、教材の効果的な活用法を理解し、概要及び要点を説明できる。(7) 生徒たちの情報活用能力(情報モラル等)の育成指導方法を理解し、表現できる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題に必要なに応じて適宜手直しして指導助言し返却することもある。
履修上の注意	講義及び課題についてのグループ協議・ディスカッション、実習・模擬授業・相互批評等により授業を進める。
成績評価の方法・基準	①最終レポート (定期試験として) 60%、②レポート課題30%、③学修意欲10%
教科書	教育の方法と技術・樋口直宏編著・ミネルヴァ書房・2420円
参考書・教材	高等学校学習指導要領 (平成30年度告示) 平成30年3月
備考	他の科目の遠隔授業の実施時期に準じた形で適宜、遠隔授業、課題研究を含んで実施する。 「定期試験」は「最終レポート」である。実施方法の詳細と評価規準は第1回で概要を授業等で告知する。
教員との連絡方法	オフィスアワー